

[研究課題名]

経皮的内視鏡的胃瘻造設術における周術期発症リスク因子に関する後方視野的研究

[研究機関]

大阪回生病院 消化器センター

[研究責任者]

増田 大介 大阪回生病院 消化器内科部長

[研究の目的]

経皮的内視鏡的胃瘻造設術（以下、PEG）を施行されている患者さんにおいての、処置関連出血の危険因子を明らかにすること。

[研究の方法]

カルテより PEG を施行された患者さんを対象に背景因子と処置関連偶発発症の発症との相関性を検討。今回の研究では大阪医科大学内科学Ⅱと関連病院で協力して行います。

●対象となる患者さん:2015年1月1日～2020年12月31日までに当院でPEGを施行された患者さん

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-6-10

大阪回生病院 消化器内科 増田 大介

電話 06-6393-6234